

所属：スポーツ科学部 競技スポーツ学科
 資格：助教
 氏名：宮内 育大

<p>研究課題名</p>	<p>混成競技の試合展開に関する運動学的考察</p>
<p>研究目的及び研究概要</p>	<p>目的：競技スポーツにおける重要な目的は、試合（ゲーム）でのパフォーマンス発揮である。この試合におけるパフォーマンス発揮は、運動技術や体力、戦術、環境など様々な要因の影響を受けることが指摘されている（青山・石塚，2009）。一方で陸上競技における混成競技種目のパフォーマンス発揮および向上のために、その競技特性や混成競技独自の各種目の特徴、パフォーマンス得点換算に関する研究が多く行われているにもかかわらず、試合のパフォーマンスを決定する上で重要な要因となる試合展開について検討されている研究は見かけられない。そこで陸上競技種目の1つである混成競技について、競技順番や競技進行に伴う身体的、精神的変化によって試合の展開がどのように変化し、それがパフォーマンス発揮にどのような影響を与えているか検討することを目的とした。</p> <p>方法：本研究の具体的な方法は、質問紙によるアンケート調査および半構造化面接の手法を用いたインタビュー、分析対象とする試合での公式記録の調査を行う。得られたデータは統計ソフト（SPSS）を用いて統計処理を行う。</p>
<p>研究実績の概要</p>	<p>本年度は研究初年度ということもあり、文献および先行研究の収集がメインとなった。その結果、以下の要点に従って検討していく。</p> <p>①混成競技全体における試合展開の特徴および、その戦術の検討 混成競技は陸上競技の「走・跳・投」の要素をもつ種目から構成されており、各競技者にも得意・不得意な種目があると考えられる。そのため混成競技者には各タイプ（短距離タイプ・跳躍タイプ・投てきタイプ・オールラウンドタイプ）があると考えられる。また、種目から種目へと試合が展開し、各種目の記録の合計が競技結果となる。そのため、1つの種目が思うような結果が得られなくても次の種目で挽回できるチャンス、各種目が満足いく結果であったとしても最終種目で失敗してしまう場合もある。そこで混成競技全体の試合展開については、試合進行に伴って身体的・精神的な疲労に伴う試合展開の考察、競技者のタイプから見た戦術について検討を行う。</p> <p>②混成競技各種目の試合展開の特徴および、その戦術の検討 各種目の試合展開について考察することで、各種目に対する戦術の検討および他の一般種目の試合展開と比較検討も行えると考ええる。混成競技ではトラック種目とバー種目（走高跳や棒高跳など）は一般の単種目と同様の試合手順で行われるが、フィールド種目の一部（投てき種目や走幅跳）は一般の単種目とは異なる試合展開で行われる。そのため個別に試合展開の検討が必要であると考えられる。また、混成競技の試合結果は各種目結果の合計によって決定するため、その競技特性から考察した戦術があると考えられる。以上の観点から検討を行う予定である。</p> <p>以上の点を踏まえて、次年度以降では学術発表ならびに学術誌への投稿を目指して実験から検討を行っていく予定である。</p>